

特別支援教室拠点校だより

たかし

6月号

令和3年 6月1日



杉並区立高井戸第四小学校特別支援教室拠点校たかし教室
たかし教室直通 03-5336-9522

特別支援教室の指導が始まり一か月がたちました。お子様の成長や日々の様子、保護者の方の願いや今後のことについて考えながら指導していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

6月、7月の予定

- ・6月1日(火)～4日(金) 保護者個人面談
- ・～7月14日(水) 1学期の指導終了



10月より特別支援教室の指導を開始された方へのお願い

特別支援教室の指導は、1年ごとに利用の継続について検討することになっています。つきましては、別紙『特別支援教室の利用について』に必要事項をご記入の上、封筒に入れて、下記の通り御提出ください。

- 提出期限 6月18日(金)
- 提出方法
 - ・指導日に特別支援教室担当教員に提出(日課帳や封筒に入れて)
 - ・各校の特別支援教室専門員、或いは、各在籍学級の担任の先生に提出
(担任→専門員→たかし教室担当教員)

特別支援教室のゲームを活用した学び



◇特別支援教室で扱うゲームの種類には様々なものがあります。



- ・数字に強くなれるゲーム
- ・言葉で気持ちを伝えるゲーム
- ・漢字を楽しく覚えるゲーム
- ・発想力を鍛えるゲーム
- ・想像力が試されるゲーム
- ・交渉力が身に付くゲーム
- ・足し算や引き算が自然と身に付くゲーム
- ・国語の語彙を増やすゲーム
- ・社会の地理や歴史が自然と身に付くゲーム
- ・感情のコントロールを楽しく学ぶゲーム
- ・相手の心理を読むゲーム
- ・物語の創作が得意になるゲーム

◇ゲームの種類はとても豊富で、子供の発達の特徴に合わせて、様々な教材や教具を使用しながら、子供の成長を促します。同じ教材や教具を使用している場合でも、子供の課題によって指導する目的が異なることもあります。どんな力を身に付けたいかを指導者が意識して指導し、子供たちは自然と授業の中で必要なスキルを身に付けられるよう工夫をしています。

◇ゲームをすることを通してつけさせたい力

- ・話をよく聞いてルールを理解する力
- ・ルールを守って協力してゲームを行う力
- ・勝ち負けのある活動を通して感情をコントロールする力
- ・推理する力、論理的思考力
- ・コミュニケーションスキルの育成

◇ゲーム中の声掛けもとても大切にしています。指導する側は、子供の言動に注意深く意識を向け、子供の感情を言語化して伝えることを大切にしています。ただ「嫌だ」「むかつく」と表現する言葉の裏に、様々な感情があることを代弁して伝えます。そして、良い発言や良い行いを見つけてすかさず褒めることで、円滑なコミュニケーションを強化していきます。効果的な声掛けにより、子供たちはより授業の充実感を得られます。

◇「楽しい気持ち」を大切に。何かを身に付ける時の一番の近道は「楽しい気持ち」です。楽しい時間をすごしていただらいつの間にか成長していたとしたら、それは最高の学びの時間だと思います。子供の成長には時間も必要です。すぐに成果が出るものばかりではありません。子供の成長を支える大人が温かい気持ちで成長を見守っていく姿勢を大切にしたいと考えています。

6月の学習予定

年



◎小集団学習「みんなの時間」

「動きのある遊び方スキル」

- 意見を言ったり聞き入れたりしながら、話し合いにより物事を決める力を高める。
- 予想や期待と違う状況になったときの気持ちや行動の切り替えを学ぶ。
- ルールを理解して守ることを通して、友達との関わりを楽しむ。

「人の表情、しぐさを読み取り判断する」

- 表情やしぐさの変化に気づく。
- 人の気持ちや考えを想像しようとする意欲と能力を高める。
- ルールを理解して守ることを通して、友達との関わりを楽しむ。

「モザイクアート」

- 集中して課題に取り組む。
- 手先を器用に使い、素材の魅力をいかした作品制作を行う。
- デザインを工夫し、自己表現をする。

「キーワードを連結させて、物語を創造する」

- 想像力を働かせる。
- 自分の考えたストーリーを伝えて表現する。
- 友達の話をよく聞いて、話がつながるような文章を考える。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他

--